

## 第6回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 平成30年12月25日（火）13:30～14:50

2. 会 場：倉吉河川国道事務所 1階 会議室

3. 出席者

（委員）

倉吉市長

三朝町長

湯梨浜町長（代理）副町長

北栄町長（代理）副町長

琴浦町長

鳥取中部ふるさと広域連合消防局長

国土交通省倉吉河川国道事務所所長

気象庁鳥取地方気象台長

鳥取県危機管理局长

鳥取県県土整備部長

鳥取県中部総合事務所県土整備局长

（オブザーバー）

鳥取県企業局长

4. 議 事

(1) 平成30年度の各機関における取組状況について

事務局から平成30年度の各機関における取り組みについての状況説明および北栄町と湯梨浜町より訓練の紹介があった。

<委員からの意見など>

・危機管理型水位計が設置されるとのことだが、水位データだけの情報では、危険性がわかりにくく、結果的に避難行動につながりにくいと思われるが、いかがか。

→簡易型水位計については、堤防天端までの余裕高、いわゆる水があふれるまで何cm余裕があるかを表示しているため、危険性や避難行動の参考になればと考えている。

・雨が小康状態となった時などは危機意識を持ち続けることは難しい。また、避難所開設に時間がかかることや夜間の対応等を考えると、町指定の避難所だけでなく、もっと身近な各集落に避難場所（公民館、民家）を作り、そこへ如何に情報を伝えていくかが重要と

考える。

- ・今年 of 災害で未整備箇所の護岸が被災した。今年被災していない護岸であっても安全性を再確認して、住民の安全に関わるようであれば事前に周知して、あらかじめ災害に対する被災の可能性について認識を持ってもらうことが大事だと考えている。

- ・取組方針のハード対策について、樹木伐採も含め、河床整備を随時実施してもらいたい。→引き続き整備を推進してまいります。

- ・一部の取組方針については、具体的な内容が記載されていないため、実効性のある具体的な取り組みとなるように担当者間で実施内容を検討してもらいたい。

## (2) 今後の取組について

### ① 多機関連携型タイムラインの策定について

来年度に検討会を設立し、平成 32 年度 of 出水期までの完成を目指して取り組むことについて説明し、承認を得た。

### ② 伊勢湾台風 60 周年記念行事の実施について

地域のイベント等を利用してパネル展を開催することを説明し、協力を依頼した。